第4篇　相対的剰余価値の生産

第12章　分業とマニュファクチュア

第1節　マニュファクチュアの二重の起源

〔的場　『資本論』を読む〕

（分業にもとづく協業）

p.593　分業にもとづく協業は、マニュファクチュアにおいて。その典型的な姿態をつくり出す。

一つの作業場に労働者を集めるのは

同じ。協業はみんな並んでミシンで同

じように縫っている。分業は、同じ仕事

ではなく、そこで流れ作業がはじまる。

p.593　それが、資本主義的生産過程の特徴的形態として支配的なのは、おおよそ16世紀なかばから。18世紀最後の三分の一期にいたる本来的マニュファクチュア時代のあいだである。

イギリスの場合、産業革命は18世紀

終りころから。国によって違う。

（二重の起源）

p.593　マニュファクチュアは、二重の仕方で発生する。

異種的マニュファクチュア－いろん

な仕事をしている手工業者が、一カ所

に集められ、いろんな部品が組み立て

られていく。種類の違う仕事が集めら

れている。

　　　　　　客馬車では車大工、馬具匠、金具師。→自動車の組立て工場をイメージする。

同じ仕事の仕事が分割－「国富論」で

は、どんな熟練工であっても1日、20

本のビンが限界と言っている。10人集

まると1日4000とアダムスミスは書い

ている。作業を分割すれば、それだけ能

率があがる。

（人間は部品になる）

p.596　このようにマニュファクチュアの発生の仕方、手工業からのマニュファクチュアの生成は、二面的である。一方でマニュファクチュアは、種類を異にする自立的な諸手工業の結合から出発する‥。

p.597　人間をその諸器官とする、一つの生産機構である。

メカニズムができあがる。ベルトコ

ンベアーは、それぞれの部署に貼り付

けられ、人間をその一部とする機構が

できあがる。

　例えば、当時のビール工。場のビンの

ラベル貼り。人間を一部分とする生産

のメカニズムが成り立つ。生産手段と

人間の関係が逆転する。人間が道具に

使われるということ。

p.597　マニュファクチュアにおける分業を正しく理解するには、次の諸点をしっかりとらえておくことが重要である。まず、第一に、生産過程をその特殊な諸局面に分割する‥。

生産過程が分割される。機械を発明

する前提となる。機械はいっぺんに作

業できないので、単純な作業に分けら

れ、それが組み合わされていく。

p.597　この狭い技術的基盤は、

マニュファクチュアの技術の狭さは、

手工業であること。

「マニュ」は手という意味「ファクチ

ュア」はつくるという意味。

『資本論』は、ある歴史段階に表れて

くる特別な生産様式という趣旨で定義

付けている。労働者が一カ所に集めら

れて、分業をやっているけれども、道具

自体は依然として古い手工業的なもの

だとしている。日本語では工場製手工

業と訳している。

〔的場　超訳『資本論』p.186〕

1. マニュファクチュアの二重の起源

分業のはじまり

協業とは人が集合することだ

った。協業はそうした集合を

人々がそれぞれ別の仕事をする

労働の分割として分業によって

大きく発展する。マニュファク

チュアといわれる初期の工場製

手工業こそ、16世紀半ばからそ

うした発展を支えることになる。

　そこから二つの仕方（内的発

❶それぞれの能力をもった労働

者を1カ所に集めること。別々

の仕事をする労働者を一つの場

所に集める‥。

❷それぞれ特殊の技能を持つ集

団だが、次第に誰でもできるよ

うな労働に分割された部門を担

うようになる。

❸次に、同じ仕事をする労働者

を。1カ所に集める。それぞれが

完成品をつくっていたが、部分

的労働を行なうようになる。

　以上の段階の分業は、まだ手

工業的な領域を一歩もでていな

い。協業に毛が生えただけのも

のだった。

1. 部分労働者とその道具

（部分労働）

p.598　‥一面的な部分労働者たち‥

「一面的な部分労働者」：仕事が極め

て単純化され、しかもその仕事しかや

らない。ビール瓶のラベル張り‥。ラベ

ル張りの名人にはなる。

労働者が大へん、不完全なですが、部

分労働者となっていく。これが制度化

されるとカーストになる。同職組合、ギ

ルドである。これらは分業をしたもの

だといえる。

p.601　‥生気は活動の転換そのもののなかに回復と刺激を見いだすが、‥

「骨化」：固めるという意味。仕事が

単純化され、刺激がなくなる。

〔的場　超訳『資本論』〕

1. 部分を担う労働者と道具

分業が生まれると、ますます

単純な分業の一端を担う労働者

がつくられる。単純な作業は、一

つの生産工程を幾重にもわたっ

て分割することで、その作業の

中に特殊な機械をつくっていく。

マルクスはバーミンガムだけで

500書類のハンマーが生産され

ていると述べているが、きめ細かな作

業分割と道具は照応関係をなし、道具

はどんどん進化し、それを組み合わせ

たある大きな機械が生まれてくる。こ

れは、一方で人間の労働過程が分割さ

れ、あたかも機械のような部品が結合

していることが前提となっている。

1. マニュファクチュアの二つの基本形態――異種的マニュファクチュアと有機的マニュファクチュア

（異種的マニュファクチュア）

いろいろ違った部品をつくり、その部

品を組み立てて完成品が出来上がって

いく。先ほどは馬具。

機関車は5000以上の部品から成って

いるが、ここでは時計－柱時計。

（有機的マニュファクチュア）

ビンの製造。部品の組み合わせでは

なく、流れ作業で原料がだんだん完成

品になっていく。

p.607　原料はそのすべての生産諸局面に同時にそろって存在している。

ｐ.608さまざまな段階的諸過程が、時間的継起から、空間的併存に転化されている。

同時進行でいろんな作業がすすんで

いる。

P．608　一方の労働成果は、他方の労働の出発点をなす。

ある労働者がつくったものが次の労

働者に渡される。

p.609　労働の連続性、画一性、規則性、秩序、とりわけ労働の強度までもが、生み出される、‥。

多くの女工さんが並んでミシンを動

かしている。操作の遅い人、速い人は、

それなりに仕事している。それが、「流

れ作業」になると、遅い人がいると原料

が止まってしまう。労働の強度が決ま

り、スピードについていけない、チャッ

プリンのような男は、はじき出される。

（生産過程が技術的法則になる）

p.609　生産そのものが、技術的法則となる。

　　　　　　労働の強度そのものまでが画一化さ

れてくる。生産過程が、「技術的問題」

として定まっていくということ。

p.610　社会的労働過程の質的編成とともに、その量的な規則および比例制をも発展させる。

活字工の話。活字を鋳型でつくる。

p.611　グループそのものが一つの編成された労働体であり、

ある作業の中で、ここは難しいから2

人、ここは1人で良いなど、労働者の配

置数まで決まってくる。

　ガラス壜製造工程には、製造工、仕上

工など４つか5つの労働者群が必要だ

った。

（結合マニュファクチュア）

p.614　注　A・スミスは、分業について新しい命題をただの一つも打ち立てなかった。

p.915　マニュファクチュア時代の独自な機械は、依然として、多数の部分労働者たちからなる結合された全体労働者そのものである。

p.616　児童労働調停委員会　「彼らは、まるで機械の部品と同じです」

（かたよった熟練）

p.617　一面化ものに専門を優れた技術にまで発達させるとすれば、それはまた、あらゆる発達の欠如さえも、一つの専門性にし始める。

マニュファクチュア時代には一つ

　　　　　　のものを1人つくるわけではないの

で熟練工、不熟練工、補助工があり、

賃金が異なっていた。

〔的場　超訳『資本論』〕

第3節　マニュファクチュアの一般的メカニズム、その二つの基本形態

——異種の部門を組み立てるマニュファクチュアと系列的マニュファクチュア

素朴な分業

もともと二つの種類のマニュファク

チュアがある。

❶時計の生産タイプ－部品を小さな

町工場でつくり、それを組立工場に持

って行く、すべての過程が一つの工場

にあるわけではない。

総合的分業

縫い針生産。一連の作業が集中して

いる系列的マニュファクチュアである。

個々の作業は協業とは違って組織化さ

れている。一種の流れ作業である。そこ

には「労働の連続性」「一様性」「秩序」

「労働の強化」などが見いだせる。1人

ひとりの労働が他人の労働に依存しあ

うことで、厳重な規律が求められてい

る。

「モダンタイムス」－人間が機械の

ように規則正しく動かねばならないと

いう非人間性。

機械になる人間の組織

生産性をあげるために各自がどのよ

うな人間にならなければならないかー

マルクスの記述－工場内の人間組織が

一つの機会になる。分業の大きな結果

なのである

1. マニュファクチュア内部の分業と社会内部の分業

（社会的分業）

p.619　マニュファクチュア内部の分業と同じく、相対立する〔二つの〕出発点から発展する。

「社会内部の分業」：社会的分業のこ

と。つまり、社会全体の中で分業が行わ

れているということ。

　整理しておくと

　一般的分業→社会的分業

　個別的分業→技術的（作業場的）分業

　　　　　　アダム・スミスは二種類をの分業を

ごっちゃに扱っている。マルクスは区

別して説明している。

「相対立する出発点」：違う仕事をし

ている人々が、それぞれ分業に編成さ

れていく。

都市と農村の分離が分業の始まりで

ある。

人口の大きさと密度が社会的分業の

前提をなしている。

（マニュファチュア的分業）

p.623　マニュファクチュア的分業は、すでに一定の発展度にまで成熟した、社会の内部における分業を必要とする。

マニュファクチュア的分業は商品生

産を前提としている。社会的分業→マ

ニュファクチュア的分業。しかし、マニ

ュファクチュア的分業は社会的分業に

反作用をおよぼす。今度は、社会的分業

の方が逆に発展する。

p.623　すでに18世紀の前半に、フランスだけで、100以上の違った種類の絹布が織られており、…

さまざまな分業ができ上っていた。

p.624　「われわれは奴隷の国民をつくることになるのであって、われわれのあいだに自由人は存在しないことになる」

フアーガンスは分業の弊害を最初に

指摘した。生産者である労働者が、部分

労働者になっていく。つまり、人間とし

ての全体的な性格を失って奴隷化して

いくことだといった。

（二つの分業の違い）

（完成品と部品）

　　　　　　社会的分業－分業している1人ひと

りの生産者が完成した商品をつくって

いる。そして売買を通して分業が結ば

れている。

p.625　マニュファクチュア的分業を特徴づけるものはなにか？それは、部分労働者が商品を生産しないということである。

つくっているものは部品である。そ

の部品があつまって商品になる。

（計画性と部品）

p.626　さまざまな社会的労働部門のあいだに商品生産者たちと彼らの生産手段が配分されるさいには、偶然と恣意とが多彩な作用をする。

（二つの分業の違い）の2

社会的分業の場合、それぞれの生産

者たちは、無計画に誰が買ってくれる

かわからないものをつくっている。

　　　　　　「売り切れる」のは偶然である。

マニュファクチュア的分業、作業場

内分業は最初から計画性がある。

作業場内分業は「先天的」－あらかじ

め計画され、偶然ではない。ベルトコン

ベアはきわめて計画的である。

（社会的分業が計画的に行われている社会）

p.629　以前の社会諸形態は、一方では社会的労働の計画的かつ権威的な組織の姿を示し‥

インドのカーストは身分制だが、そ

れに職業がくっつき、固定化している。

p.631これら自給自足的な諸共同体の単純な生産有機体は、アジア諸国家の絶え間ない崩壊を再建ならびに絶え間ない王朝交代とはいちじるしい対照をなしているアジア諸社会の不変性の秘密をとく鍵を提供する。

（アジア社会の不変性）

p.632　商人は、どんな商品をも買うことができたが、商品として労働〔力〕だけは買うことができなかった。

既存の同職組合はもろもろの亜種に分裂するか、‥

マニュファクチュア的分業は、資本

主義的生産様式のまったく独自の副産

物である。

〔的場　超訳『資本論』〕

第4節　マニュファクチュア（工場製手工業）的分業と社内的分業

二つの分業の違い

❶「工場内の分業」－工場の中で行わ

れる労働の分割。

❷「社会内分業」－社会の中で行われ

る労働の分割。

社会的分業の一定の成熟によって、

工場内の分業、その初期の形態とし

ての「マニュファクチュア的分業」が、

生まれると、今度は逆に社会的分業

を促進していく関係－二つの分業は

ある段階から相互作用をもって発展

しあうことを意味している。

❶と❷は本質的な点で異る。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分業 | 商品売買 | 生産の計画性 |
| ❶工場内 | ない | 計画的 |
| ❷社会内 | 行われる | 無政府的 |

古い社会の問題点

インド　固定的な分業の再生産を共

同体が管理し、マニュファクチュア的

分業を発生させないようにしている。

西欧では同業者組合によるマニュフ

ァクチュア的発展が規制されている。

資本主義が発展する中で国家命令で

壊されていく。

1. マニュファクチュアの資本主義的性格

（資本の額の増加）

p.633　資本の可変的構成部分とともに、不変的構成部分も増加しなければならない。

資本の額が大きくならなければマニ

ュファクチュア的経営はできない。

（生産力の上昇）

p.634　ラ・プラタ州において、毛皮や油を取るために、動物一匹をまるごと殺してしまうように‥

部分労働者になることによって人間

自身がダメになってなる。

（労働者は資本家のものに）

マニュファクチュアに入った労働者

は「資本家の民である」ということにな

る。エリートのことばは「選ばれた民」

であり、もともとは「紙に選ばれた民」

の意味である。

（労働者の不具化）

p.636　部分労働者たちが失うものは、彼らに対立して資本に集中される。

資本に従属する労働者になっていく。

考えるのはもっぱら資本家に任せ、労

働者は馬車馬のように働けとなる。

　　　　　　労働者の不具化は、単純協業に始ま

り、マニュファクチュアにおいて発展

し、大工業で完成する。

　　　　　　アダム・スミスの「同毒療法的服薬」

－毒をもって毒を制す。国民教育の力

で偏りをなおすと言っている。

（教養とはなんでもできること）

p.641　注　「教養ある人間とは、まず第一に、他人のなすことはなんでもすることがで。きる人間と解されるうる」（ヘーゲル）

一つのことしかできないのは〝専門

バカ〟。教養はその反対。古代ギリシャ

の理想は万能人間。ルネッサンスの理

想。

ダビンチは絵も彫刻も機械も発明し

ている。分業は新しい用具によって分

業の編成も変わってくる。

（新しい搾取の形態）

p.642　文明化され洗練された搾取の一手段として現れる。

分業によって生産力が発展する。

それは労働にたいする新しい搾取の

形態である。つまり、「文明化された

‥」である。

　　　　　　資本主義になると同じ分量の労働で

大量に生産する－量が重視される。

ギリシャやローマは質と使用価値に

固執している。

　　　　　　注　多面的に能力を発揮させること

が大事だといっている。

（マニュファクチュアの限界）

p.650　マニュファクチュア自身の狭い技術的基盤は、…

マニュファクチュア的分業のこの生産物がそれ自体で機械を生産した。この機械は、社会的生産の規則的原理として手工業的活動を廃除する。

1. やはり熟練労働者が必要。イギリスの徒弟法は7年間の修行期間を定めている。

1563年－1814年

労働力の価値を思うように下げることができない。

1. 熟練労働者の規律不足残っている。月曜日はサボる。無断欠勤、気に入った時だけ働く。流れ作業なので勝手に休まれたら作業がストップする。
2. 「狭い技術的基盤」－じゃまになってくる。手で使う道具では間に合わなくなる。

　　機械が現れる。

〔的場　超訳『資本論』〕

1. マニュファクチュアの資本主義的性格

分業は能力を発展させられるか？

マニュファクチュア的分業では、労

働者は資本に提供する部分として、一

特殊能力を売ることを強要される。こ

れは監督労働の管理のもとに行われる。

この段階でも機械制大工業の時代と

は違う。分業においても熟練労働者が

強く、男性支配の世界である。修行も長

い。徒弟法もあった。

了